

安全運転の徹底を！！

学期末を迎え、慌ただしい日々が続いていることと思います。ひどく疲れた状態で運転しなければいけないことはありませんか。忙しさの中で、これくらい大丈夫だろうと、運転の判断が甘くなることはありませんか。また、本格的に寒くなり、積雪や路面凍結によるスリップ事故も起こりやすくなります。交通量が多くなる年末・年始に向けて、今一度気持ちを引き締め、安全運転を心がけましょう。

《冬場の安全運転のポイント》

- ・冬用タイヤの早めの装着と十分な車間距離
- ・「急」のつく運転操作は×（急発進・急ハンドル・急ブレーキ）
- ・時間と心にゆとりを持ち、スピードを控えた運転

このカードは自家用車に携帯されていますか？

（不祥事防止研修プログラム 第11回「交通事故・交通違反」別添資料）

もし交通事故を起こしてしまったら…

教職員の皆さんは、速やかに次の対応を取ってください。

- 車を安全な場所に停車
- 負傷者の救護（救急車を呼ぶ）
- 事故現場の保存と二次被害の防止
- 警察に連絡
- 相手の住所、氏名、生年月日、電話番号、勤務先の確認
- 負傷者の搬送先病院名、負傷部位、程度の把握
- 勤務先・管理職に連絡
- 目撃者の確認
- 保険会社に連絡

119番

110番

勤務先：

管理職：

保険会社：



事故を起こさないことが一番ですが、万が一事故を起こしたときには、ささいな接触でも、必ず警察に連絡をしましょう。

年末・年始の交通事故防止県民運動実施中